

平成17年度三重県公共事業再評価箇所一覧表(県事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町村名	再評価理由	全体事業概要と目的	事業進捗状況			事業を巡る社会経済状況等の動向	費用便益分析結果 コスト削減の可能性 代替案の検討等	今後の事業の見通し	委員会意見等		
						採択年	総事業費	進捗率					事業進捗内容	
							工事費	進捗率						
目標年	用地費	進捗率												
広域漁港整備事業	3	宿田曾	南勢町		【全体事業概要】 外郭施設 沖防波堤 L=300m 西防波堤 L= 60m 宿防波堤 L=100m 中防波堤 L=100m 突堤 L= 40m 係留施設 -5.0m岸壁 L= 21m 浮き栈橋 2基 輸送施設 道路 L=620m 用地 用地 A=15,000m2 用地護岸 1式	H6	4,378	84.3%	外郭施設 沖防波堤L=284m 宿防波堤L=100m 中防波堤L=100m 突堤 L= 40m 係留施設 -5.0m岸壁L= 21m 輸送施設 道路 L=620m 用地 用地 A=15,000m2 用地護岸 1式	【全体計画の変更】 静穏度向上を図るため、沖防波堤延長をL=38m増したことにより、総事業費4,365百万円から、4,378百万円に全体計画を変更。	費用便益費 B/C=1.21 コスト削減の可能性 用地の埋土は、国道260号改良工事より発生した土砂を流用。	平成6年度に事業着手し、現時点での進捗率は84.3%となっています。 平成20年度には、全体計画を完了する見込みです。	事業継続の妥当性が認められたことから事業継続を了承する。	
						H20	-	-						

平成17年度三重県公共事業再評価箇所一覧表(市町村事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町村名	再評価理由	全体事業概要と目的	事業進捗状況			事業を巡る社会経済状況等の動向	費用便益分析結果 コスト削減の可能性 代替案の検討等	今後の事業の見通し	委員会意見等	
						採択年	総事業費	進捗率					事業進捗内容
							工事費	進捗率					
目標年	用地費	進捗率											
地域水産物供給基盤整備事業	105	国崎	鳥羽市		【全体事業概要】 外郭施設 突堤 L=20m 沖防波堤 L=100m 水域施設 - 2m泊地 A=4,000m2 係留施設 - 2m物揚場 L=180m 輸送施設 道路 L=212m 漁港施設用地 用地 A=690m2	H6	1,497	39.9%	外郭施設 突堤L=20m 沖防波堤L=100m 水域施設 - 2m泊地 A=4,000m2 係留施設 - 2m物揚場 L=180m 輸送施設 道路L=212m 漁港施設用地 用地A=690m2	【全体計画の変更予定】 沖防波堤の整備にあたり、深浅測量、波浪条件、静穏度解析をおこなった結果、ブロック重量及び断面積の増加により総事業費1,012百万円を1,497百万円に全体計画を変更したい。	費用便益比 B/C = 1.37  コスト削減 用地及び道路盛土に、床掘・浚渫残土を流用しました。舗装材・基礎材に再生材を使用しました。	平成6年度に事業着手し現時点での進捗率は39.9%となっています。 H25年度には全体計画を完了する見込みです。	審査を行った結果、次の点について不明確であり、投資効果の妥当性を判断できなかった。 波高分布計画の妥当性、必要静穏度の判断基準 防波堤規模の確定根拠 したがって、これらを定量的、かつ、論理的に説明できる資料の提出を待って再審議とする。
						H25	1,497	39.9%			代替案の検討 沖防波堤は、静穏度解析等から工法・延長及び航路幅を決定しており、現計画が妥当であると考えています。		

平成17年度三重県公共事業再評価箇所一覧表(市町村事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町村名	再評価の理由	全体事業概要と目的	事業進捗状況			事業を巡る社会経済状況等の動向	費用便益分析結果 コスト削減の可能性 代替案の検討等	今後の事業の見通し	委員会意見等	
						採択年	総事業費	進捗率					事業進捗内容
							工事費	進捗率					
							目標年	用地費					
地域水産物供給基盤整備事業	106	相差	鳥羽市		<p>【全体事業概要】                      外郭施設                      西防波堤 L=30m                      沖防波堤 L=120m                      護岸 L=60m                      水域施設                      - 3m泊地 A=2,800m<sup>2</sup>                      係留施設                      - 3m岸壁 L=60m                      船揚場 L=30m                      輸送施設                      道路 L=455m                      漁港施設用地                      用地 A = 2,400m<sup>2</sup></p>	H6	1,438	82.0%	<p>【全体計画の変更】                      H14年度漁港法の改正に伴い事業費の見直しをおこなったところ総事業費1,678百万円から1,438百万円に全体計画を変更しました。</p>	<p>費用便益比                      B/C = 1.4</p> <p>コスト削減                      用地埋立土に、床掘・浚渫残土を流用しました。                      用地埋立土に、他事業で発生した残土を流用しました。                      舗装材・基礎材に再生材を使用しました。</p> <p>代替案の検討                      沖防波堤は、静穏度解析等により工法・延長及び航路幅を決定しています。また、船揚場についても当漁港の漁船数から必要であり現計画が妥当であると考えています。</p>	<p>平成6年度に事業着手し現時点での進捗率は82%となっています。                      H20年度には全体計画を完了する見込みです。</p>	<p>審査を行った結果、次の点について不明確であり、投資効果の妥当性を判断できなかった。                      波高分布計画の妥当性、必要静穏度の判断基準                      したがって、これらを定量的、かつ、論理的に説明できる資料の提出を待って再審議とする。</p>	
						H20							

平成17年度三重県公共事業再評価箇所一覧表(市町村事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町村名	再評価の理由	全体事業概要と目的	事業進捗状況			事業を巡る社会経済状況等の動向	費用便益分析結果 コスト削減の可能性 代替案の検討等	今後の事業の見通し	委員会意見等	
						採択年	総事業費	進捗率					事業進捗内容
						目標年	工事費 用地費	進捗率					
地域水産物供給基盤整備事業	107	坂手	鳥羽市		【全体事業概要】 外郭施設 1号防波堤 L=58m 1号防波堤(透過式) L=10m 護岸 L=62m 水域施設 - 2m泊地 A=2,130m <sup>2</sup> 係留施設 船揚場 L=20m - 2m物揚場 L=200m 浮棧橋 1基 輸送施設 道路 L=310m 漁港施設用地 用地 A=3,063m <sup>2</sup>	H6	1,100	87.7%	外郭施設 1号防波堤L=58m 護岸L=62m 水域施設 - 2m泊地 A=2,130m <sup>2</sup> 係留施設 船揚場L=20m - 2m物揚場 L=200m 浮棧橋 1基 輸送施設 道路L=310m 漁港施設用地 用地A=3,063m <sup>2</sup>	【全体計画の変更】 1号防波堤(透過式)の整備にあたり波浪条件・地質調査等により構造物設計を行った結果の事業費の増。 地質調査・地元協議の結果-2m泊地整備面積の減。  このことにより総事業費1,072百万円から1,100百万円に全体計画を変更しました。	費用便益比 B/C = 1.26  コスト削減 用地等盛土に、床掘・浚渫残土を流用しました。 舗装材・基礎材に再生材を使用しました。	平成6年度に事業着手し、現時点での進捗率は87.7%となっています。 H18年度には全体計画を完了する見込みです。	審査を行った結果、次の点について不明確であり、投資効果の妥当性を判断できなかった。 波高分布計画の妥当性、必要静穏度の判断基準 したがって、これらを定量的、かつ、論理的に説明できる資料の提出を待って再審議とする。
						H18				【事業目的】 漁船が安全に準備・休憩できる港内泊地及び物揚場を確保します。 漁業作業のための用地を確保します。 港内の水質を改善します。			

平成17年度三重県公共事業再評価箇所一覧表(市町村事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町村名	再評価の理由	全体事業概要と目的	事業進捗状況			事業を巡る社会経済状況等の動向	費用便益分析結果 コスト削減の可能性 代替案の検討等	今後の事業の見通し	委員会意見等	
						採択年	総事業費	進捗率					事業進捗内容
							工事費	進捗率					
目標年	用地費	進捗率											
広域漁港整備事業	111	答志	鳥羽市		<p>【全体事業概要】</p> <p>外郭施設 2号防波堤 先端巻込み 東防波堤 L=240m 1号防波堤(消波) L=90m 護岸 L=65m 突堤 L=40m 水域施設 - 3m泊地 A=6,600m<sup>2</sup> 係留施設 - 3m岸壁 L=400m 浮棧橋 2基 輸送施設 道路 L=390m 漁港施設用地 用地 A=7,560m<sup>2</sup> 漁場施設 魚礁(2m角型)150個</p> <p>【事業目的】 漁船が安全に陸揚・準備・休憩できる港内泊地及び岸壁を確保します。 荷捌き・準備作業のための用地を確保します。 乗降・荷物の積卸時の安全を確保するため浮棧橋を整備します。</p>	H6	4,217	93.3%	<p>外郭施設 2号南防波堤 先端巻込み 東防波堤L=240m 1号防波堤(消波) L=90m 護岸L=65m 突堤L=10m 水域施設 - 3m泊地 A=6,600m<sup>2</sup> 係留施設 - 3m岸壁L=400m 輸送施設 道路L=390m 漁港施設用地 用地A=7,560m<sup>2</sup> 漁場施設 魚礁(2m角型) 150個</p>	<p>【全体計画の変更】 東防波堤における前面消波工の削除。 港口よりの波浪を防止し港内の静穏度を高めるための突堤の追加。 漁協合併を契機に事業見直しを行った結果浮棧橋整備箇所の減。 漁場整備のための魚礁の追加。</p> <p>このことにより総事業費が5,598百万円から4,217百万円に全体計画を変更しました。</p>	<p>費用便益比 B/C = 1.45</p> <p>コスト削減 用地埋立土に、床掘・浚渫残土を流用しました。 用地埋立土に、他工事で発生した残土を流用しました。 舗装材・基礎材に再生材を使用しました。</p> <p>代替案の検討 現計画は港内の静穏度を高めるための突堤及び潮位差を解消するための浮棧橋であることから現計画が妥当であると考えています。</p>	<p>平成6年度に事業着手し、現時点での進捗率は93.3%となっています。 H20年度には全体計画を完了する見込みです。</p>	<p>審査を行った結果、波高分布計画の妥当性、必要静穏度の判断基準、及び、将来の漁業就業者年齢構成予測について不明確であり、投資効果の妥当性を判断できなかった。 したがって、これらを定量的、かつ、論理的に説明できる資料の提出を待って再審議とする。</p>
						H20							

平成17年度三重県公共事業再評価箇所一覧表(市町村事業)

(単位:百万円)

事業名	箇所	箇所名	市町村名	再評価の理由	全体事業概要と目的	事業進捗状況			事業を巡る社会経済状況等の動向	費用便益分析結果 コスト削減の可能性 代替案の検討等	今後の事業の見通し	委員会意見等	
						採択年	総事業費	進捗率					事業進捗内容
							工事費	進捗率					
目標年	用地費	進捗率											
漁港整備事業全般					-	-	-	-	-	-	-	防波堤計画の妥当性を説明するためには、波高分布のシミュレーション解析技術にかかる信頼性の説明が必要不可欠である。したがって、今後、本委員会においては、当該技術の概要とともに、その結果の妥当性について説明を加えられたい。 また、投資効果が県民にわかるように将来の漁業就業者年齢別構成予測を踏まえた漁業ビジョンの説明を求めめるものである。	
					-	-	-	-	-	-			

注:再評価理由

- 事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業
- 事業採択後一定期間を経過した時点で継続中の事業
- 再評価実施後一定期間が経過している事業
- 社会経済情勢の急激な変化等により再評価を実施する必要が生じた事業